

【三】(P12・23P13・2)

「ただ、そんなことにはいちいち驚いてだんや、身かまたないよ。そう言って自分自身への探検も、周りの世界への探検もやめてしまつた人は昔も今も大勢いる。い一年をして驚くなんて恥ずかしいと考える人も大勢いる。」
 「おもしろい人のほうに圧倒と云つたのも無理はない。こうして私たちは、こんな不思議に満ちた世界にいるのに、^②驚くことをやめて、早々と盛り込んでしまつてつるやくのだ。なんがおもしろいこと、ないかなあ。」

「驚く才能を眼らせてしまつたら、平穩無事な毎日ばかりに退屈だ。退屈さに耐えられなくなつたとき、私たちは退屈を紛らわせる最大のイベントの一だった。戦争は数々のドラマを生み出し、英雄を生み出した。戦争ほど人々を退屈から遠ざけ、熱狂させてきたものはなかつた。今も戦争の語となると、とだんに勢いをつけてきたものはなかつた。だが、^①結果がどうであつたかは、これまでの歴史がすべてに教えてくれている。」

「平和な日々をその退屈さにも無味す、いや、^③そこにこそ意味を見いだして、生き延びていくのは容易なことではないだろう。だが、^④難もあつた。この難くという才能は、必ずや平和を生き延びるための一歩を秘たかに踏み出してゆくにちがいない。踏み出した後は、^⑤後はたゞ心算きをもつて世界と対峙した喜びの記憶を、そして、そのとき手にした問いを手放さないことだ。問いを手放さないとは、希望を持たない人は、何かを畏れ、見続けることではない。」「と言つたが、問いを手放し、ものを畏れ続けることをやめた人は、世界はどうしてその神秘の扉を開いてくれるのだろう。」

【四】(P13・3「おわり」)

「筆者の主張(考へ)を、つかむには、
 主として、出来事との心な点が書かれてあるか。
 繰り返し出てくる言葉(キーワード)があるか。
 題名が内容を表していないか。・・・等をポイントに見ましよう。」

「今、若い人たちにこそ期待されていることである。戦争の世紀と言われる二十世紀を生きてきた人間は、平和を生き延びることについて、^①驚くという才能を發揮している人は、退屈に陥ることなく、その平和な日々を生きていくことができるので、^②刺激的な戦争への誘惑(誘引)にも惑わされないと考えるか。^③」

「その当人たちでさえ気づいていないだけかもしれない。
 ① 直前に誘引を出して、人々を？」

「ある戦争の世紀の言葉と方法で事態に立ち向かおうとする。平和を生き延びる言葉と方法を生み出し続けるのは、これからは生きるべきだ。② 世界であらうに誕生してつづけるのに、
 ③ 今、若い人たちにこそ期待されていることである。戦争の世紀と言われる二十世紀を生きてきた人間は、平和を生き延びることについて、
 ④ 驚くという才能を發揮している人は、退屈に陥ることなく、その平和な日々を生きていくことができるので、
 ⑤ 刺激的な戦争への誘惑(誘引)にも惑わされないと考えるか。」

「各一部文が切れている箇所が、すでに本文三の冒頭と、百字要約の冒頭各自書き定めてください。」

問一 傍線部①「そういう人」とは、どういふ人か。
 簡潔に答えよ。

自分自身への探検も、周りの世界の探検もやめてしまつた人は昔も今も大勢いる。
 二 傍線部②「驚くことをやめて、...」を、本文中から十三字で抜き出せ。

驚く才能を眼らせてしまつたら、平穩無事な毎日ばかりに退屈だ。
 三 傍線部③「私たちに必要...かもしれない」について、
 (一)それはなぜか。本文中の語句を用いて簡潔に説明せよ。
 (二)「退屈を積極的に生きようとする」と同義の部分を、本文中から四十字程度で抜き出し、初めと終りの五字で示せ。

平和な日々をその退屈さにも無味す、いや、そこにこそ意味を見いだして、生き延びていくのは容易なことではないだろう。
 四 傍線部④「その結果」とは何の結果か。答えよ。
 五 傍線部⑤「その二」の指示内容を答えよ。
 六 傍線部⑥「その二」の指示内容を答えよ。
 七 傍線部⑦「それ」の指示内容を答えよ。
 八 傍線部⑧「その当人」とは誰のことか。答えよ。

「戦争は、人々を熱狂させ退屈から遠ざけるイベント。戦争は、今でも多くの人々を勢いづかせる話題。」
 九 傍線部⑨「その結果」とは何の結果か。答えよ。

「戦争」に對する筆者の考えとして、適当でないものを次から選べ。

ア 戦争は、人々を熱狂させ退屈から遠ざけるイベント。
 イ 戦争は、今でも多くの人々を勢いづかせる話題。
 ウ 戦争の結果、現在の繁栄がもたらされた。
 エ 戦争によって多くのドラマ、英雄が生み出された。

「戦争の結果。」

「平和な日々をその退屈さにも無味す、いや、そこにこそ意味を見いだして、生き延びていくのは容易なことではないだろう。」

「驚く才能を眼らせてしまつたら、平穩無事な毎日ばかりに退屈だ。退屈さに耐えられなくなつたとき、私たちは退屈を紛らわせる最大のイベントの一だった。戦争は数々のドラマを生み出し、英雄を生み出した。戦争ほど人々を退屈から遠ざけ、熱狂させてきたものはなかつた。今も戦争の語となると、とだんに勢いをつけてきたものはなかつた。だが、結果がどうであつたかは、これまでの歴史がすべてに教えてくれている。」

「各一部文が切れている箇所が、すでに本文三の冒頭と、百字要約の冒頭各自書き定めてください。」